

科目区分	専門分野	科目名	母性看護援助Ⅰ (正常経過とハイリスクの看護)	対象学生	第2学年
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学 期	第1学期
担当講師	(すべて院内講師)			実務経験	有
科目目標	1. 正常な妊娠・分娩・産褥経過と各期における母性及び新生児の看護を理解する。 2. ハイリスクにある対象の看護を理解する。				
授業計画	第1回 妊娠期の身体的・心理・社会的特性 (講義) 1. 妊娠の生理 2. 胎児の発育とその生理 3. 胎児付属物の生理 4. 母体の生理的变化 5. 妊婦の心理 6. 妊婦と家族及び社会 第2回 妊婦と胎児のアセスメント (講義) 1. 妊娠とその診断 2. 妊娠期に行う検査 3. 胎児の発育と健康状態の診断 4. 妊婦の健康状態のアセスメント 第3回 妊婦と家族の看護 (講義) 1. 妊娠の届出 2. 母子健康手帳 3. 妊娠中の保健指導 4. マイナートラブル予防 5. 妊娠期の日常生活 6. 親になるための準備教育 第4回 ハイリスク妊娠 (講義) 1. 切迫早産 2. 糖代謝異常妊娠 3. 多胎妊娠 4. 妊娠高血圧症候群(HDP) 第5回 ハイリスク妊娠の看護(講義) 1. 高年妊婦・若年妊婦の看護 2. 不妊治療後の妊婦の看護 3. 合併症を有する妊婦の看護 4. その他の問題を持つ妊婦の看護 第6～9回 分娩期 (講義) 1. 分娩の要素と分娩経過 2. 産婦/胎児、家族のアセスメント 3. 産婦と家族の心理 4. バースレビュー 5. 帝王切開を受ける産婦の看護 第10～12回 産褥期 (講義) 1. 産褥の生理 2. 産褥期の身体機能の回復 3. 褥婦、家族の心理的社会的変化 4. 産褥期の異常に対する看護 5. 異常児/死産した褥婦と家族の看護 第13～14回 新生児 (講義) 1. 新生児の生理 2. 子宮外生活適応へのアセスメント 3. 新生児の全身観察 第15回 終了試験				
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学 [2] 母性看護学各論 医学書院 病気がみえる 産科 メデックメディア 看護実践のための根拠がわかる母性看護技術 メヂカルフレンド社				
講師からのメッセージ	妊娠、分娩について、イメージ化をはかるために模型やシミュレーター、体験教材を用いて学習する。さらに 一連の経過を理解するために DVD 等の視聴覚教材も活用し、理解を深める。「形態と機能Ⅳ(生殖器)女性生殖器の構造と機能、受精と胎児の発生」(既習)を学習しておくこと。国家試験出題基準を確認し学習すること。				